



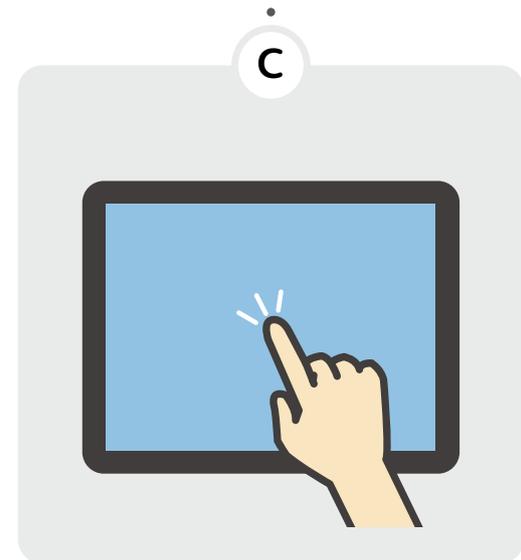
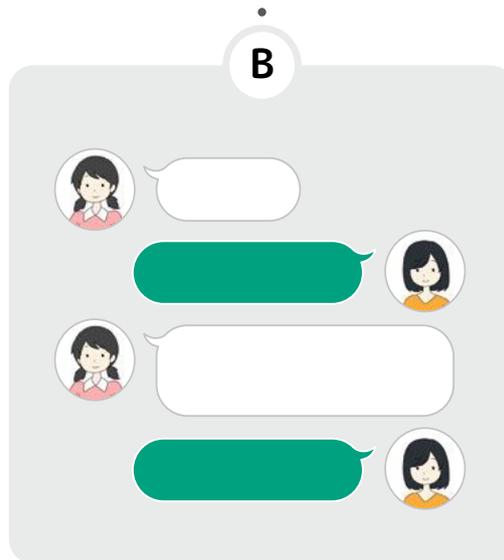
ここから、タブレットを使った^{つか}学習^{がくしゅう}がはじまります。

ここでは、タブレットを使う^{つか}前^{まえ}に知^しっておくべきことや気^きをつけておくべきことについて^{まな}学びます。

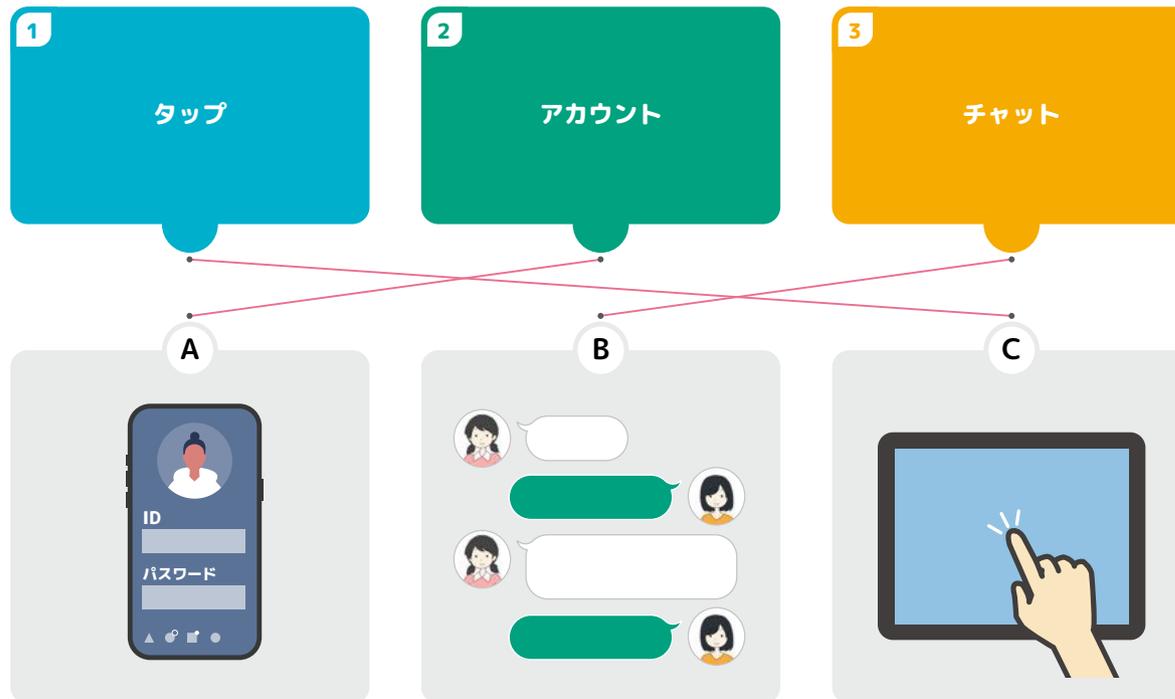
さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、タブレットを使う^{つか}ときの言葉^{ことば}を知^しっていると思う^{おも}
- わたしは、自分^{じぶん}にあった方^{ほう}ほうで文字^{もじ}を入力^{にゅうりよく}することができると思う^{おも}
- わたしは、タブレットを大切^{たいせつ}に使^{つか}っていると思う^{おも}
- わたしは、タブレットを使う^{つか}ときに「ぜったいにやってはいけないこと」がわかると思う^{おも}
- わたしは、よりよいパスワードの作り^{つく}方^{かた}や使^{つか}い方^{かた}を知^しっていると思う^{おも}
- わたしは、タブレットのじゅう電^{でん}をわすれたことがないと思う^{おも}

これから、タブレットを使った学習がはじまります。
 上の1～3の言葉のせつ明として正しいものを、下の①②③の絵からえらび、線でつなげましょう。



正しい



★ スキルのポイント

「タップ」とは、指で軽くさわることです。

「アカウント」とは、その人のことをはんだんするもので、家にたとえば住所のようなもの、「パスワード」とは家のカギのようなものです。パスワードはとても大切なものなので、人に教えないようにしましょう。

「チャット」とは、ネット上での文字だけのコミュニケーションのことです。

タブレットでは、いろいろな方ほうで文字を入力することができます。
つぎ ことば じぶん ほう にゅうりよく
次の3つの言葉を、自分にあつた方ほうでそれぞれ入力してみましょう。

1

おいしい

2

ごはん

3

がっこう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



とも
友だちとくらべてみよう

キーボードで



てが
手書きで



おんせい
音声で



★ スキルのポイント

もじ にゅうりょく
文字の入力は、これからひとつようなスキルになります。

じぶん にゅうりょく
自分にあつた方ほうで入力できるようにするとともに、ぜひキーボード入力に
もチャレンジしてみましょう。

れんしゅう じゅう
くりかえし練習することが重ようです。



つぎ 3つのことを実践にやってみて、^{とも}友だちとくらべてみましょう。

1

タブレットを
「しずかに」
とじる

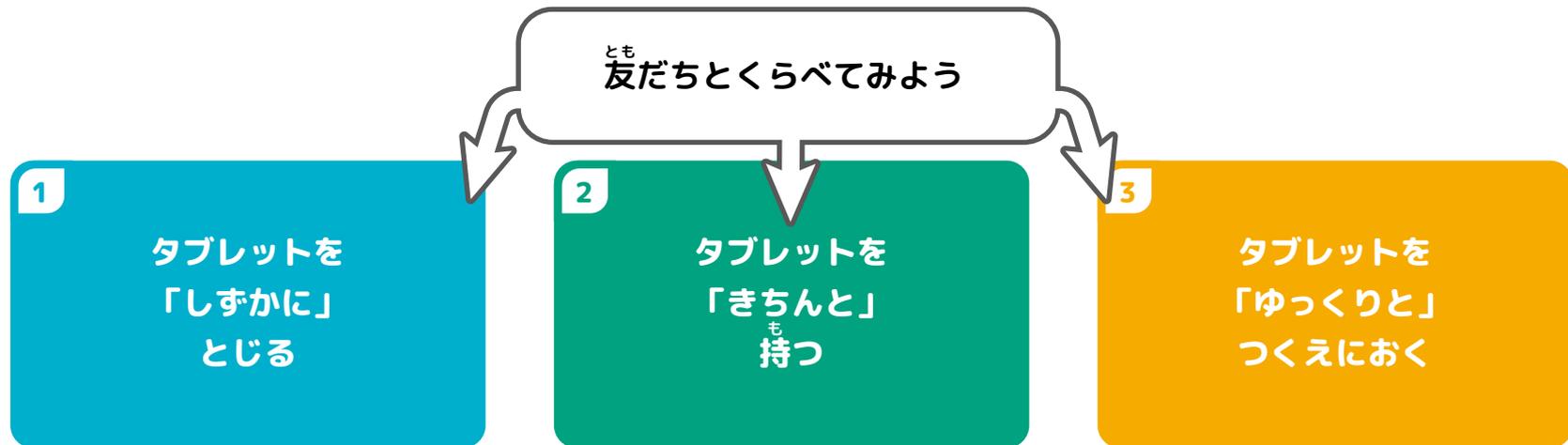
2

タブレットを
「きちんと」
も
持つ

3

タブレットを
「ゆっくりと」
つくえにおく





★ スキルのポイント

タブレットは、大切にたいせつ使つかわないとこわれてしまうことがあります。
もし、こわれてしまうと、しゅうりのために時間じかんがかかり、みんなと同じようにタブ
レットを使つかえなくなることもあります。

タブレットを使つかうときは、できるだけやさしくさわったり、しっかりと両手りょうてで持も
ったり、ゆっくりとつくえにおいたりすることを心こころがけましょう。



どのくらいあぶないのかな？

つぎ
次のことは、どのくらいあぶないでしょうか。

「やらないほうがよい」か「ぜったいにやってはいけない」に分けてみましょう。

1

タブレットの動きが
おそいので、少し強く
タップした

2

友だちのタブレットに
勝手にログインした

3

教室で友だちの着がえの
動画をこっそり撮った

やらないほうがよい **A**

B ぜったいにやってはいけない

せい
正かい

やらないほうがよい **A**

1

タブレットの動きが
おそいので、少し強く
タップした

B ぜったいにやってはいけない

2

友だちのタブレットに
勝手にログインした

3

教室で友だちの着がえの
動画をこっそり撮った

★ スキルのポイント

友だちのタブレットに勝手にログインしたり、友だちの着がえをこっそり撮ったりすることは、はんざいなのでぜったいにやってはいけません。

すこし強くタップすることも、タブレットがこわれたりするおそれがあるので、できればやらないほうがよいでしょう。





パスワードの作り方や使い方

パスワードにかんする3つの^{こうどう}行動を、「○^{もんだい}問題はない」「×^{もんだい}問題がある」にわけてみましょう。

1

わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2

わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

3

友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

○^{もんだい}問題はない **A**

B ×^{もんだい}問題がある



正しい

○ 問題はない **A**

3 友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにした

× 問題がある **B**

1 わすれないように、パスワードを自分のたん生日(1215)にした

2 わすれるかもしれないので、友だちにパスワードを教えた

★ スキルのポイント

パスワードを自分のたん生日にしてしまうと、ほかの人に簡単に予想されてしまいます。

パスワードは、他の人が簡単に予想できないようにして、だれにも教えず、もし友だちがパスワードを入力しているときは、その様子を見ないようにしましょう。





でん じゅう電できていないのは

いえ も
家から持ってきたタブレットが、じゅう電^{でん}できていませんでした。
つぎ なか
次の中から、自分が一番^{じぶん いちばん}やっ^ててしまいそうなことをえらんでみましょう。

1
あさ がっこう
朝、学校のしたくをした
ので、じゅう電^{でん}できな
かった

2
あとでじゅう電^{でん}しようと
おも^{おも}わす
思って忘れてしまった

3
じゅう電^{でん}するひつようが
ないと思^{おも}っていた

4
かぞく
家族がじゅう電^{でん}してくれ
ていると思^{おも}っていた

5
じゅう電^{でん}できていると
おも^{おも}っていたら、コンセン
トにささ^さっていないかった

とも
友^{とも}だち^{だち}とくらべてみよう

1
あさ^{あさ} がっこう^{がっこう}
朝、学校のしたくをした
ので、じゅう電^{でん}できな
かった

2
あとでじゅう電^{でん}しようと
おも^{おも}わす^{わす}
思って忘れてしまった

3
じゅう電^{でん}するひつようが
ないとおも^{おも}っていた

4
かぞく^{かぞく}がじゅう電^{でん}してくれ
ているとおも^{おも}っていた

5
じゅう電^{でん}できていると
おも^{おも}っていたら、コンセ
ントにささっていなかった

☆ スキルのポイント

タブレットがじゅう電^{でん}できていないと、がっこう^{がっこう}でつかう^{つか}ことができずにこま^{こま}ってしまいま
す。

「どんなときにじゅう電^{でん}できていないのかな」と自分^{じぶん}がやっ^やってしま^まいそう^{そう}なことを
想像^{そうぞう}してみま^ましょう。





つか まえ
使う前に

まとめ

じょうず つか 上手に使うために

タブレットは、^{つか}使おうと思えば、^{おも}学習だけでなく^{がくしゅう}遊びにも^{あそ}使えてしまいます。^{つか}

「なぜ、タブレットが^{はい}配^りふされているのか」、その^{りゆう}理由を^{かんが}考えながら、タブレットを^{ゆう}有^{つか}こうに^{つか}使^{つか}っていきましょう。

チェックしてみよう

- わたしは、タブレットを^{つか}使うときの^{ことば}言葉を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- わたしは、^{じぶん}自分にあ^{ほう}った^{もじ}方^にほう^にで^{ゆうりよく}文字^{もじ}を^に入力^にすることができる
- わたしは、タブレットを^{たいせつ}大切に^{つか}使うことができる
- わたしは、タブレットを^{つか}使うときに「^ぜっ^{たい}に^やっ^ては^いけ^ない^こと」を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- わたしは、よりよいパスワードの^{つく}作り^{かた}方^{つか}や^{かた}使^{めい}い^{めい}方を^{めい}せつ明^{めい}することができる
- わたしは、タブレットの^{でん}じゅう電^{でん}を^わす^れな^いよ^うに^くふ^うす^こと^ができる